



## PDA 即興型英語ディベート京都交流大会2025

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2025年7月19日（土）13:30-17:00

会場：京都市立日吉ヶ丘高校 英語村

参加者：生徒・教員 75名（京都府立嵯峨野高等学校、京都府立鳥羽高等学校、京都府立東宇治高等学校、京都府立洛北高等学校、京都市立日吉ヶ丘高等学校、京都市立開建高等学校、京都市立堀川高等学校）

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、同志社大学、九州大学、北海道教育大学・PDA 認定教育ジャッジ

京都市立日吉ヶ丘高校英語村に7高校14チームが集い、即興型英語ディベート京都交流大会2025が開催されました。はじめに、PDA 代表理事の中川智皓から「他の人の考え方を知って、自分に何ができるかを考える力を身につけることができれば、自分のアイデアで世界を少しでも前進させることができるかもしれません。いろいろな意見を大切に頑張ってください。」と応援のメッセージが送られました。次に、京都市立日吉ヶ丘高等学校の太山校長先生より開会のご挨拶をいただきました。「自分の意見を持ち、それを表現することは、これまで以上に大切になっています。競争のためではなく、協力し合うため、そして新しい解決策を生み出すために、ぜひ頑張ってください。」と英語でエールが送られました。

次に参加校の紹介です。それぞれの学校が息を合わせ、明るく元気な挨拶を披露しました。続いては、POI（Point of Information: ディベート中の質問）の練習やルールの最終確認です。確認を終えるとよいよ本番のディベートが幕を開けました。



太山校長先生の挨拶



全員で POI の練習

1ラウンド目の論題は、“**Fast fashion brings more harm than good.**（ファストファッションは、利益よりも害をもたらす。）”でした。環境への影響や、安価に服を購入できることの重要性をめぐる論点と、労働者の権利、大量生産・大量消費・大量廃棄といった使い捨て

文化の加速に関する論点とがぶつかり合い、初戦から白熱した議論が展開されました。中には POI による質疑応答が繰り広げられたテーブルもあり、積極的に POI を行う姿勢は素晴らしかったです。さらに、質問に対して理由や具体例を交えて返答することで、自分たちの立場をより説得力のあるものに昇華させる、キレのある対応を見せるチームもありました。



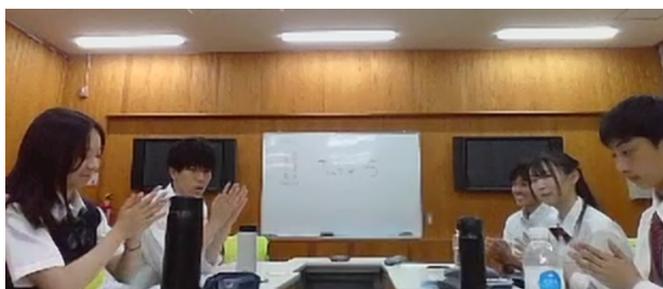
POIの様子： 洛北 VS 嵯峨野 A



POIの様子： 堀川 VS 鳥羽 A



ディベート後に握手を交わす様子（左：鳥羽 B VS 東宇治 A、右：嵯峨野 C VS 鳥羽 C）



ジャッジによる勝敗発表を受けて称え合う様子（日吉ヶ丘 A VS 東宇治高校 C・嵯峨野）

続く 2 ラウンド目の論題は “**Single-use plastic products should be banned.** (使い捨てプラスチック製品は禁止されるべきだ。)” でした。肯定側は、プラスチックごみによる海洋汚染など現状の問題を指摘するだけでなく、プラスチック製品の禁止によって企業の取り組みや人々の生活がどのように変化するのかといった「論題採択後の世界」についても詳しく分析しました。一方、否定側は、経済への影響や衛生面での懸念など、異なる視点から議論を展開しました。



スピーチの様子：嵯峨野 B VS 開建



握手：東宇治高校 C・嵯峨野 VS 鳥羽 B

2回の実践を終えると、ジャッジによる「ぜひこの生徒のスピーチをもう1度聞きたい」という推薦に基づいて選出された生徒によるエキシビジョンディベートです。まずはその代表者6名が発表されました。論題は、“**After-school club activities in schools should be abolished.** (学校における放課後のクラブ活動は廃止すべきである。)”でした。多くの友人や他校の生徒、先生が見守る中で、出場者たちは最後まで自信を持ってスピーチをやり切りました。それぞれが相手の発言にしっかり耳を傾け、内容を深く受け止めた上で、的確な反論や議論の再構築に挑んでいる様子が際立っていました。



エキシビジョンディベートの様子

閉会式では表彰式のあと、東舞鶴高校の田中重春校長先生より閉会のご挨拶をいただきました。「今日のディベート活動をきっかけに、みなさんの英語学習の次のステップに向けて頑張ってください。」と参加した高校生へ激励のメッセージが送られました。



集合写真

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

・PM	鳥羽高校	_____さん
・LO	堀川高校	_____さん
・MG	東宇治高校	_____さん
・MO1	洛北高校	_____さん
・MO2	日吉ヶ丘高校	_____さん
・LOR	嵯峨野高校	_____さん
・PMR	開建高校	_____さん



### 〈ベストディベータ賞〉★は2回選ばれた生徒

- \_\_\_\_\_さん (洛北) ★
- \_\_\_\_\_さん (東宇治高校 A) ★
- \_\_\_\_\_さん (鳥羽 B) ★
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 B) ★
- \_\_\_\_\_さん (堀川)
- \_\_\_\_\_さん (堀川)
- \_\_\_\_\_さん (堀川)
- \_\_\_\_\_さん (開建)
- \_\_\_\_\_さん (日吉ヶ丘 A)
- \_\_\_\_\_さん (東宇治高校 A)
- \_\_\_\_\_さん (鳥羽 C)
- \_\_\_\_\_さん (鳥羽 A)
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 C)
- \_\_\_\_\_さん (東宇治高校 C・嵯峨野)
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 A)
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 A)



### 〈ベスト POI 賞〉★は 2 回選ばれた生徒

- \_\_\_\_\_さん (開建) ★
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 A) ★
- \_\_\_\_\_さん (堀川)
- \_\_\_\_\_さん (開建)
- \_\_\_\_\_さん (東宇治高校 A)
- \_\_\_\_\_さん (鳥羽 C)
- \_\_\_\_\_さん (東宇治高校 C・嵯峨野)
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 B)



### 〈チーム賞〉

- 1 位 嵯峨野高校 B チーム
- 2 位 洛北高校
- 3 位 堀川高校
- 4 位 東宇治高校 A チーム
- 5 位 開建高校



1 位 嵯峨野高校 B チーム



2 位 洛北高校



3 位 堀川高校

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ディベート自体も学びになるものですが、振り返りなどがより学びになったと思いました。ありがとうございました。（開建）
- ・チームワークと、具体例を入れて、どれだけ意見を深められるかが大事だとわかった。（洛北）
- ・1年生から参加していて最後に今までの反省点が発揮できて納得いくスピーチができた。（洛北）
- ・今日は皆で協力して議論の準備もできて、集大成として納得のいくディベートができました。（洛北）
- ・成長が結果から分かりさらに続けて上手になりたいです。（鳥羽）
- ・今日の大会では全ての試合で負けてしまったけれど、一回目の時よりも2回目の方が多く時間いっぱいまで話せるようになってとても楽しかった。これからのディベートでも今日のこと学んだことをどんどん生かしていきたいと思った。（嵯峨野）
- ・私はサマリーを担当したのですが、サマリーの本来の役割というものを改めて考えさせられました。自分たちのチームが1番伝えたいのはなんなのか、相手に伝わるようストレートに言うことが大事だと学びました。（嵯峨野）
- ・久しぶりにディベートをして、大会も久しぶりだったけど、学びのある時間になった。新しいチームで、後輩とも仲良くなりながら参加できてよかった。（嵯峨野）
- ・初対面の人とのディベートという機会が少ない分、緊張などありましたが、この活動に参加したことで自分の弱みや改善点を明確にすることができ、とても良い経験をすることができました。（嵯峨野）
- ・いろいろな話し方があってよかった。自分が知らないものが多かった。（堀川）
- ・テーマが絶妙に難しく面白かった。（日吉ヶ丘）
- ・即興でするのが難しかったけれど、いい経験になったし、自分の苦手なところもわかったので、英語の勉強に活かしたいです。（日吉ヶ丘）
- ・英語のモチベに繋がった。京都の高校生でこんなにも英語のディベートができる人がいることにとても圧巻された。カッコいい。（日吉ヶ丘）
- ・たくさんの高校と合流できて、とてもいい経験になりました！（東宇治）
- ・レベルが高い人たちから感銘を上げることができました。私も話す機会を自分から増やして英語で話す能力を高めていきたいです！（西京）
- ・いつも貴重な機会をありがとうございます。生徒にとって本当に良い機会になっています。（教員）
- ・ディベートは本当に英語力向上に役立つと考えています。（教員）